



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



## 立地企業等による連携協議を開催

8月26日、リナシティかのやのカフェで市内の立地企業、高等学校及び関係機関から34人が参加して、「鹿屋市立地企業ネットワーク&イノベーション会議」が開催されました。

会議では、30年間の永年に渡り事業を継続して本市の産業振興に貢献された、株式会社サツマ超硬精密鹿児島工場と鹿児島応用技術株式会社の立地企業2社に対する表彰や「情報発信が町工場を変える」と題した講演会がありました。このほか、県・市の企業支援策の制度説明、市内の高校紹介などがあり、相互の連携・協力の強化に向けての協議が行われました。



## かのや農業・農村戦略ビジョン策定委員会を開催

8月1日、市役所で今後の農業・農村の振興を図るためのビジョン（将来構想）について検討する「第1回かのや農業・農村戦略ビジョン策定委員会」が開催されました。

会議には市内外の有識者や農業従事者、関係団体の代表者等が参加し、将来の農業・農村のあり方等について活発な議論を交わしました。

また、後日には、4つの専門部会（耕種、畜産、加工・販売、農村社会）も開催され、専門的な協議・検討が行われました。かのや農業・農村戦略ビジョンは平成27年3月までに策定する予定です。



## 鳥インフルエンザ防疫演習を実施

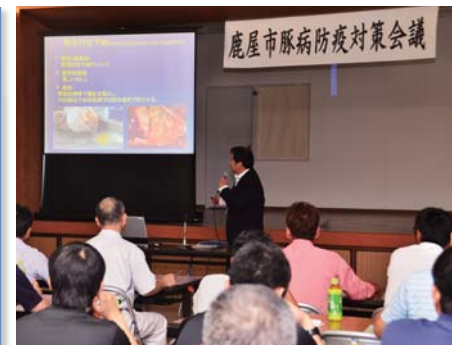
8月29日、市文化会館と市体育館で「県高原病性鳥インフルエンザ防疫演習」が行われました。

これは、万一の家畜伝染病の発生に対して迅速な防疫措置を行うことができる体制づくりのために、関係機関が連携して実施したものの。参加者は発生後の初動体制から、防護服の着用、殺処分、埋却まで一連の作業手順を確認しながら、真剣に取り組んでいました。



## 鹿屋の農業技術を学ぶ

8月25日、中米カリブ地域の農業技術者や指導員など10人が市役所を表敬訪問しました。これは、JICAの小規模農民支援有機農業技術普及手法コースの一つで、日本の農業を学ぶことを目的としています。研修生は市役所を訪問した後、浜田町の谷村ファームを訪れ環境保全農業への取り組みを見学するなど、有機農業について真剣な眼差しで学んでいました。



## 豚病(PED等)の防疫体制を整備

8月7日、豚病防疫対策会議が開催されました。これは、豚病（PED等）の防疫体制を整備することを目的に、市内の養豚農家やJAなど関係機関が参加。会では、鹿児島大学の小澤准教授による講演が行われたほか、市内の全農家が参加する鹿屋市豚病防疫対策協議会の設置が決定し、地域一体となった家畜伝染病の侵入防止への取り組みが確認されました。